報告事項5 令和4年度委員会報告

委員会報告

〔 1 〕 教育委員会

委員長 増満 誠

1. 委員会開催状況

1) 委員会 9回

(集合開催3回、ハイブリッド開催5回、Web開催1回、中止3回/進捗と議題延期のために開催不要)

2) 検討事項

- (1) 委員会活動内容について
- (2) 研修応募状況について
- (3) 研修実施の評価
- (4) 令和5年度研修計画の検討
- (5) 令和5年度教育委員会活動計画の検討
- (6) 教育委員会規程・内規の検討

2. 活動報告

「教育理念」「教育目的」「教育目標」「教育研修分類」に沿って、基本的な知識が習得できる研修をベースに、急性期から生活へのつながりを意識した研修、また各職能の実践能力のラダーに関連した研修を企画した。ウィズコロナ時代においても適切な教育研修計画が実践できるように、オンライン研修やオンデマンド研修を多く開催し、集合研修は感染症の発生状況に応じて柔軟に研修方式や運営方法を変更した。

分類	研修方法	回数	日数	定員数	応募者数	受講者数
分類1	集合研修 (一部ハイブリッド開催を含む)	8	8	610	886	386
	オンライン研修	24	23.0	3,220	3,874	2,727
	オンデマンド	12	—	—	3,669	3,482
分類3	集合研修	3	7	220	184	129
	オンライン研修	8	8	610	763	577

3. 今後の課題・検討事項等

- 1) 今年度と同様に、感染拡大時にも対応しうる研修を準備する必要がある。基礎的内容はオンデマンド研修、発展的内容は対面研修など新しい研修スタイル(オンデマンド、収容人数等)に合わせた構成を検討する。
- 2) 申込や受講状況、アンケート結果及び委員や関係者による受講評価、これらの指標を参考に、併せて日本看護協会の研修分類や教育目標の網羅性を踏まえた研修内容を検討する。
- 3) 委員会(教育、新人、感染、医療安全)を超えた重複内容による研修のスリム化、区(差)別化を一層図るとともに、ラダーの対象の幅についても検討を行う。
- 4) 県内のリソースナース(高度実践看護師など)を活用し、近隣施設とのつながりの強化や顔の見える関係の構築の機会となる研修を企画する。
- 5) 福岡県看護協会が企画するというスケールメリットを活かし、著名な全国の講師を招聘することで、最新の情報に触れる機会を設ける。

〔 2 〕 新人看護職員研修運営委員会

委員長 中村 千夏子

1. 委員会開催状況

1) 委員会 6回(内、Web会議1回)

2) 検討事項

- (1) 委員会活動スケジュールについて
- (2) 令和4年度新人看護職員多施設集合研修の企画・運営・評価

- (3) 令和4年度新人看護職員(研修責任者・教育担当者・実地指導者)研修プログラムの検討・評価
- (4) 令和4年度新人看護職員研修アドバイザー派遣事業の展開・評価
- (5) 令和5年度新人看護職員多施設集合研修の企画
- (6) 令和5年度新人看護職員(研修責任者・教育担当者・実地指導者)研修プログラムの検討
- (7) 令和5年度新人看護職員研修アドバイザー派遣事業の検討
- (8) 福岡県内病院施設の新人看護職員教育体制に関する実態調査の計画・実施・分析

2. 活動報告

1) 研修会等開催

(1) 福岡県新人看護職員研修責任者研修(県委託事業) オンライン開催

開催日 9月1日、9月9日、9月10日、9月13日、令和5年2月7日

講師 済生会福岡総合病院 大嶋由紀氏、小倉記念病院 後藤明子氏、日本赤十字九州国際看護大学 阿部オリエ氏、NPO法人日本看護キャリア開発センター 江藤節代氏

内容 新人看護職員研修ガイドラインの概要/研修責任者の役割/新人看護職員に関わる看護職員のメンタルサポート/教育に関する知識/新人看護職員臨床研修の企画と評価/自施設の新人看護職員研修体制の課題に対する取り組みを実践報告

対象 新人看護職員研修ガイドラインで規定された研修責任者または看護師資格を有する管理者(看護師長以上、看護部長含む)

受講者 52名、修了者 50名

(2) 新人看護職員教育担当者研修(県補助事業) オンライン開催

開催日 1回目:11月7日、11月8日、11月9日、11月10日、令和5年3月2日

2回目:11月18日、11月21日、11月22日、11月28日、令和5年3月6日

講師 九州医療センター 中村千夏子、九州大学大学院医学研究院保健学部門 能登裕子氏、久留米大学病院 山下真範氏、NPO法人日本看護キャリア開発センター 江藤節代氏

内容 新人看護職員研修ガイドラインの概要/教育担当者の役割/教育に関する知識/新人看護職員と新人看護職員に関わる看護職員のメンタルサポート/新人看護職員臨床研修の企画と評価/自部署の新人看護職員臨床研修の課題に対する取り組みを実践報告

対象 新人看護職員研修ガイドラインで規定された教育担当者としての役割を担う看護師資格を有する者、その任にあたる予定の看護師資格を有する者

受講者 1回目:60名、2回目:58名、修了者 1回目:58名、2回目:57名

(3) 福岡県新人看護職員実地指導者研修(県委託事業) オンライン開催

開催日 1回目:9月29日、10月3日、10月5日、10月6日、令和5年2月9日

2回目:10月12日、10月14日、10月18日、10月24日、令和5年2月13日

3回目:10月25日、10月26日、10月28日、10月31日、令和5年2月15日

講師 済生会福岡総合病院 川崎智子氏、福岡赤十字病院 山根理恵子氏、福岡大学病院 池田静子氏、NPO法人日本看護キャリア開発センター 江藤節代氏

内容 新人看護職員研修ガイドラインの概要/実地指導者研修の役割/教育に関する基礎知識/新人看護職員のメンタルサポート/看護技術の指導方法/新人看護職員への教育的関わりやメンタルサポートの課題に対する取り組みを実践報告

対象 新人看護職員研修ガイドラインで規定された実地指導者としての役割を担う看護師資格を有する者、その任にあたる予定の看護師資格を有する者

受講者 1回目:59名、2回目:59名、3回目:61名、修了者 1回目:56名、2回目:55名、3回目:59名

(4) 新人看護職員多施設集合研修(県補助金事業)

・オンデマンド研修(6テーマ)

配信期間 ①～④:6月1日～10月2日、⑤・⑥:9月1日～令和5年1月4日

①フレッシュナースセミナー～看護職員として必要な基本姿勢と態度～(180分)

講師 公益社団法人福岡県看護協会 会長 大和日美子、福岡看護大学 飯野英親氏 受講者 781名

②感染予防の基礎知識(160分)

講師 九州医療センター 有川法宏氏 受講者 476名

③看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ～呼吸・腹部～(140分)

講師 飯塚病院 藤岡智恵氏 受講者 587名

④看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ～循環・脳神経系～(140分)

講師 飯塚病院 藤岡智恵氏 受講者 590名

⑤基礎から学ぶ医療安全(約120分)

講師 福岡大学病院 押川麻美氏 受講者 394名

⑥基礎から学ぶ褥瘡予防(約120分)

講師 福岡大学筑紫病院 園田みずき氏 受講者 403名

・集合研修(同内容を4回開催・定員:各60名)

⑦今を乗り切ろう!～入職6ヶ月を振り返って～

開催日 1回目:9月20日、2回目:9月21日、3回目:9月26日、4回目:9月27日

講師 福岡大学病院 池田静子氏

内容 新人看護師の特徴や陥りやすい気持ち/今の自分の気持ちを自由に語ろう/実際の場面を思い浮かべながら話してみよう(演習)

対象 令和4年3月に卒業した者、もしくは免許取得後に医療機関等にはじめて就労する看護職員で、就労して1年未満の者

受講者 1回目:55名、2回目:46名、3回目:38名、4回目:50名

(5)新人看護職員研修アドバイザー派遣事業(県補助金事業)

①対象施設:医療法人古森病院(事業2年目)

アドバイザー:九州大学病院 江口恭世氏

②対象施設:糸島医師会病院(事業1年目)

アドバイザー:福岡赤十字病院 赤時麻由美氏、九州医療センター 中村千夏子

③対象施設:遠賀中間医師会おかがき病院(事業1年目)

アドバイザー:九州中央病院 新町咲子氏、飯塚市立病院 松尾由美氏

2)福岡県内病院施設の新人看護職員教育体制に関する実態調査(調査期間:9月30日～10月31日)

調査目的:福岡県の病院施設における新人看護職員教育体制の実態を明らかにし、福岡県看護協会が実施している新人看護職員研修事業の今後の在り方を検討する。

3.今後の課題・検討事項等

- 1)新規企画として開催した新卒者対象の集合研修は、コロナ禍の影響を受けて入職した新卒者にとって、仕事上で感じている不安や困難感を出出できる良い機会となった。多施設の新人看護職員同士の交流を目的とした集合研修に対するニーズも高いことが伺え、継続した研修企画が必要である。
- 2)新人看護職員への支援として、アンケート調査を実施し、その調査結果の分析ならびに調査結果を反映した新人看護職員研修の企画、プログラム策定、実施、評価が必要である。

[3] 社会経済福祉委員会

委員長 仲村 亜依子

1.委員会開催状況

1)委員会 9回

2)検討事項

- (1)働き方改革に関する好事例施設の把握調査・周知方法
- (2)第53回日本看護学会における発表内容
- (3)第22回福岡県看護学会における特別報告内容
- (4)次年度計画、予算について

2.活動報告

1)学会・研修等参加

- (1)第53回 日本看護学会学術集会発表(札幌) 発表者2名
- (2)第22回福岡県看護学会 特別報告 報告者1名

2)働き方改革に関する好事例施設の把握調査の検討

3. 今後の課題・検討事項等

- ・ 働き方改革に関する好事例施設の把握調査の実施・好事例報告会の開催

[4] 学会委員会

委員長 宇都宮 信子

1) 委員会 9回

2) 検討事項

(1) 第22回福岡県看護学会について

- ①運営方法について ②シンポジウムについて ③抄録選考について
- ④プログラムについて ⑤研究発表支援員について ⑥特別企画について
- ⑦発表者と支援員のための説明会及び面談会について ⑧集録集について

(2) 第23回福岡県看護学会について

- ①運営方法について ②テーマについて ③特別講演について
- ④シンポジウムについて ⑤ポスターチャラシについて ⑥学会実施要綱について
- ⑦特別企画について ⑧広告掲載企業について ⑨研究発表支援員マニュアルについて
- ⑩令和5年度のスケジュールに関して

(3) その他

- ①委員長、副委員の互選について ②令和5年度学会委員会活動内容及び事業計画について

2. 活動報告

1) 第22回福岡県看護学会

テーマ 「追求し続ける看護」

開催日 12月12日～令和5年2月13日(完全オンデマンドで開催)

内容 ①口演発表26演題(申込演題30演題、採択演題27演題)

②特別講演「新しい時代に向けて～日本の看護の未来～」

講師 千葉大学大学院看護学研究院 教授・国際看護師協会 理事 手島恵氏

座長 公益社団法人福岡県看護協会 会長 大和日美子

③シンポジウム「良質な看護サービスの提供に向けた取り組み

～ガイドラインに基づいた看護補助者との協働～」

コーディネーター 久留米大学病院 小川由美氏(シンポジストを兼ねる)

シンポジスト 一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院 後藤明子氏

シンポジスト 医療法人輝栄会 福岡輝栄会病院 中瀬桜氏

④特別企画 プログラムⅠ「看護実践報告～セル看護提供方式[®]について～」

報告者 株式会社麻生 飯塚病院 久保佳子氏

⑤特別企画 プログラムⅡ「医療的ケア児支援の取り組み

～福岡県医療的ケア児支援センターの活動を通じて～」

報告者 福岡県医療的ケア児支援センター 横田信也氏

⑥特別報告 「訪問看護事業所と介護保険施設で働く看護師が利用者・家族から受ける暴力・ハラスメントに関する調査結果報告～調査結果からみえた今後の課題と取り組み～」

報告者 社会保険田川病院 仲村亜依子氏(福岡県看護協会社会経済福祉委員長)

対象 看護職及び看護学生

総参加者 617名(発表者含む)

2) 発表者と支援員のための説明会及び面談会

開催日 7月8日 ※欠席者は、別日にオンラインで面談実施

内容 学会発表者の研究に対して原稿のまとめ方の支援を行い、最終原稿作成までを支援する

対象 学会発表者及び発表者を支援する支援員

参加者 発表者13名・支援員13名 計26名

3. 今後の課題・検討事項等

第22回福岡県看護学会は、第21回に引き続き完全オンデマンドでの開催となった。企画にあたり、当委員

会ではより質の高い学会開催を目指し、昨年度の企画・運営を振り返りながら検討を重ねていった。

アンケートでは参加満足度が高く、全ての企画において「参考になった」と多数の回答を得ることができ、全体として評価は高かった。シンポジウムにおいては、「ディスカッションの場があれば良かった」との意見があり、オンデマンド開催のデメリットと考える。集合開催となる第23回の学会では、充実したディスカッションが行えるように企画していきたい。

学会参加者数は、昨年度までと比較し、横ばいで推移した。一方で、参加者の年代、病床数における参加施設や地区別においては、偏りがみられた。特に、以前より課題となっている20～30歳代の参加割合の低さが顕著にみられた。20～30歳代の参加割合の増加を、今後も重要事項のひとつとし、企画を検討していく必要がある。

2年間にわたり完全オンデマンド学会を開催したことは、学会委員会にとっては良い経験となった。メリット・デメリットを見出したことで、今後の学会開催に向けて企画・運営を広い視野で捉えることができるようになった。第23回は、集合開催及びオンデマンド開催、それぞれのメリットを最大限に活かせるように取り組んでいきたい。

〔 5 〕 看護の進路・進学支援委員会

委員長 原崎 礼子

1. 委員会開催状況

1) 委員会 9回

2) 検討事項

- (1) 進路に活かす「看護への道」説明会について
- (2) 看護学校と職場の情報交換会について
- (3) 看護の出前授業について
- (4) 「看護学校と職場の情報交換会」活動報告書の発行について
- (5) 福岡県看護師等学校養成所ガイドブック「叶えたい夢に向かって」改訂について
- (6) 次年度事業計画について

2. 活動報告

1) 交流会・情報交換会等

(1) 進路説明会 進路に活かす「看護への道」説明会（オンライン）

開催日 5月25日

内容 看護学校教員および看護師より、それぞれの立場から看護職に関する情報提供を実施。

対象 中学生、高校生、保護者、中学校・高等学校の教員

参加者 75名

(2) 情報交換会 看護学校と職場の情報交換会（オンライン）

開催日 8月24日

内容 看護学校の教員と医療施設の看護職者にて、学生や新人看護師に関する情報交換会を実施。

対象 看護師養成所教員、臨床の看護職員、卒後教育担当者

参加者 52名

(3) 情報交換会 「看護の出前授業」連絡会（オンライン）

開催日 11月30日

内容 出前授業に出向く講師または講師登録を検討している方に向け、出前授業に関する情報共有を実施。

対象 出前授業の講師登録者・登録予定者、施設管理者等

参加者 48名

2) その他

(1) 令和4年度看護学校と職場の情報交換会の報告書作成

8月に開催した会について、活動内容や参加者からの意見、委員会で検討した意見等を報告書に記載し、情報発信を実施。

(2) 福岡県看護師等学校養成所ガイドブック「叶えたい夢に向かって」改訂

3. 今後の課題・検討事項等

- ・ 進路説明会のオンデマンド配信の企画・運営を行う。また、広報活動の方法について検討し、対象者の範囲の拡大や多くの方が看護への道に興味を持つ機会をいかに作れるかが課題である。
- ・ 看護学校と職場の情報交換会について、広報の工夫や活動を計画的に行い、活動の成果をまとめ、多くの施設に発信し、人材育成に活用できるようにする。
- ・ 看護の日のイベントにおける進路・進学個別相談について、企画・運営を行い、看護職の人材確保に向けた取り組みを行う。

〔 6 〕 医療安全推進委員会

委員長 村田 光代

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 9回
- 2) 検討事項
 - (1) リスクマネージャー研修
 - (2) 令和4年度医療安全管理者養成研修委託事業
 - (3) 令和5年度医療安全推進委員会主催研修
 - (4) 令和5年度医療安全管理者養成研修委託事業
 - (5) 看護職賠償責任保険制度について

2. 活動報告

1) 研修会等開催

- (1) リスクマネージャー研修「薬剤関連の医療事故防止対策について」(オンライン研修)

開催日 6月24日

講師 白岡中央総合病院 Quality Management Center 医療安全管理課 課長 渡邊幸子 氏

内容 薬剤関連の医療事故防止対策について

対象 医療安全管理者(専従、専任、兼任)及び医療安全管理者を目指す人

受講者 83名

- (2) 医療安全管理者養成研修【演習】【日本看護協会委託事業】(オンライン研修)

開催日 令和5年1月14日、1月21日

講師 福岡市立こども病院 吉富ゆかり 氏

演習講師 九州中央病院 山田さおり 氏

内容 医療安全文化の醸成(講義・演習)

対象 医療安全管理者または1年以内に医療安全管理者になる予定の者

受講者 123名

3. 今後の課題・検討事項等

令和4年度は、医療安全管理者の養成と支援につながる内容の研修について企画し、運営した。特に、各施設において多い薬剤関連の医療事故をテーマに研修を行った。薬剤師兼医療安全管理者の講師による講義は、医薬品安全管理における病院全体での取り組みや重大事故防止対策につながる研修となった。

また、昨年度に引き続き、日本看護協会委託事業である医療安全管理者養成研修40時間のうち、5時間の講義と演習内容を医療安全推進委員会で検討し、その講師を担った。医療現場において、医療安全は根幹にあたる部分である。これまでの評価を行いながら、次年度も医療の質の向上と安全確保を目的とし、内容を検討していきたい。

〔 7 〕 災害看護委員会

委員長 吉開 香織

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 8回(中止2回)
- 2) 検討事項

- (1) 災害支援ナース育成研修(基礎編・実務編)・災害支援ナースフォローアップ研修 企画・運営・評価
- (2) 災害看護支援ポケットマニュアル改訂にむけた協議
- (3) 令和5年度 事業計画及び予算(案)の検討

2. 活動報告

1) 災害支援ナース育成研修(基礎編)

テーマ：「災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基礎知識～(基礎編)」 JNA収録DVD研修

開催日：1回目(集合) 7月21日・7月22日、2回目(オンライン) 9月1日・9月2日

講師：国立病院機構本部 DMAT事務局 小井土 雄一 氏、国際医療福祉大学大学院 石井美恵子 氏、公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院 残間由美子 氏、国立病院機構本部 DMAT事務局 河寫 謙 氏、公益社団法人日本看護協会 鎌田久美子 氏、人吉市役所健康福祉部保健センター 久保田美枝子氏、社会保険大牟田天領病院(福岡県看護協会災害支援ナース) 清末定美 氏、社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院(熊本県看護協会災害支援ナース) 松野ひとみ 氏、医療法人弘遠会すずかけヘルスケアホスピタル(静岡県看護協会災害支援ナース) 大場好子 氏、福岡県立精神医療センター太宰府病院(福岡県看護協会災害看護委員) 笹隈友美 氏

内容：災害医療の基礎知識/災害時に求められる看護支援活動/災害時の感染対策/災害時の心理変化とこころのケア/看護協会の災害時看護支援活動/学びの共有/災害時の他職種の役割と連携/災害支援ナースとしての活動の実際(避難所支援・病院支援・宿泊者施設支援)/災害支援ナースの活動報告・登録・更新の手続き

対象：保健師、助産師、看護師、准看護師

受講者：82名 修了者：82名

2) 災害支援ナース育成研修(実務編)

開催日：9月15日・9月16日(集合)

講師：福岡県医療指導課 永野朝男 氏、福岡県京築保険福祉事務所 岩本治也 氏

災害看護委員講師：川崎病院 吉開香織、済生会二日市病院 川野健、福岡県立精神医療センター太宰府病院 笹隈友美、福岡大学病院 米川真末、小倉記念病院 里将平、九州医療センター 田口裕子、飯塚病院 小畑亜希子、福岡青洲会病院 藤山貴之、福岡県精神保健福祉センター 真子美和

内容：福岡県の災害医療体制/DHEAT/災害発生から派遣～現地での活動～帰還までの机上シミュレーション

対象：災害支援ナース育成研修【基礎編】受講修了者

受講者：69名 修了者：69名

3) 災害支援ナースフォローアップ研修

開催日：11月17日、11月18日(集合) ※同内容2回開催

講師：福岡県医療指導課 永野朝男 氏、福岡県粕屋保健福祉事務所 伊勢真美子 氏、福岡県田川保健福祉事務所所長 高田淳子 氏

災害看護委員講師：川崎病院 吉開香織、済生会二日市病院 川野健、福岡県立精神医療センター太宰府病院 笹隈友美、福岡大学病院 米川真末、小倉記念病院 里将平、九州医療センター 田口裕子、飯塚病院 小畑亜希子、福岡県精神保健福祉センター 真子美和

内容：福岡県の災害医療体制/DHEAT/派遣要請から出動までの流れ、活動計画立案の考え方ポイント 演習(情報整理、アセスメント、問題点の抽出、活動方針の立案)、活動報告、事例検討

対象：災害支援ナース登録者

受講者：124名 修了者：124名

4) その他

- ・日本看護協会と都道府県看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練 なし
- ・福岡県看護協会と災害支援ナース登録施設との情報伝達テスト 12月20日実施

3) 今後の課題・検討事項等

<災害支援ナース育成研修について>

- ・基礎編は、新型コロナウイルス感染症拡大により、7月と9月に開催された。災害看護委員は、2日目の災

害支援ナースの活動報告・登録更新の手続きに係る項目を担当した。アンケート結果では、理解度・役立ち度ともに「95%以上が理解できた・役立った」との回答であり、研修内容については、「災害支援ナースの活動内容がわかりやすかった」との意見が多かった。また、新項目として、令和4年度より学びの共有や災害時の感染対策が入った。

- ・ 実務編は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から2会場をオンラインで繋ぎ実施した。Web会議システムの操作に多少時間を要したが、比較的スムーズに実施できた。アンケート結果では、ほぼ全ての項目で「理解できた」「まあまあ理解できた」と回答した人が90%を超えており、講義とグループワークを通して災害支援ナースとしての活動の実際をイメージすることが出来たと考える。令和4年度は、研修受講者の6割以上が災害支援ナースへの登録に繋がった。
- ・ フォローアップ研修についても、グループワークは2会場で実施した。講義やグループ発表は一同に会して実施したが、運営はスムーズにできた。アンケート結果では、全ての項目で「理解できた」「まあまあ理解できた」と回答した人が90%を超えており、ほぼ目標は達成したと考える。令和4年度は新たに事例を作成し、実際の派遣時のアセスメントや活動計画等を提示する等、よりリアルに体験できる工夫を行った。次年度も引き続き実践に活かせる研修内容について検討していく。

<災害看護支援ポケットマニュアル改訂について>

- ・ 本文は、令和3年度の災害看護支援マニュアル(改訂版)と同様とし、添付する様式や資料の検討を行った。

[8] 感染管理委員会

委員長 川後田 美穂子

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 10回(Web会議含む)
- 2) 検討事項
 - (1) 令和4年度研修検討、実施、評価について
 - (2) 福岡県感染管理リーダー看護師育成研修について
 - (3) 福岡県感染管理看護基礎研修について
 - (4) 介護施設ラウンドについて
 - (5) 令和5年度事業計画・研修計画について

2. 活動報告

1) 研修会等開催

- (1) 高齢者の看護、介護における実践的感染対策研修(精神科領域を含む)

開催日 11月25日

講師 コネクト合同会社 CEO 山口征啓 氏
飯塚病院 感染管理認定看護師 山下智雅 氏
福岡県精神医療センター太宰府病院 感染管理認定看護師 笹隈友美 氏

内容 「高齢者施設の感染対策(高齢者の特性、高齢者介護施設の特性)」「感染予防活動の実際」「認知症患者も含む精神科領域における感染対策の特殊性」「高齢者施設におけるラウンドの実施状況や施設クラスターについて」「ディスカッション」

対象 看護職及び看護職以外も可

受講者 57名

- (2) 福岡県感染管理リーダー看護師育成研修(県委託) 4日間:企画・講師を担当

開催日 1日目:5月26日、5月27日

2日目:8月19日、8月20日、9月8日、9月16日、10月7日

3日目:9月22日、9月23日、10月12日

4日目:令和5年2月3日、2月4日、3月1日

講師 飯塚病院 医師 的野多加志 氏
福岡徳洲会病院 感染症看護専門看護師 伊藤恭子 氏
大牟田市立病院 感染管理認定看護師 川後田美穂子
姫野病院 感染管理認定看護師 中西穂波 氏

演習講師(感染管理委員)

大牟田市立病院	感染管理認定看護師	川後田美穂子
総合せき損センター	感染管理認定看護師	松本正幸
白十字病院	感染管理認定看護師	山口佐月
姫野病院	感染管理認定看護師	中西穂波
福岡ゆたか中央病院	感染管理認定看護師	中山佐代子
九州病院	感染症看護専門看護師	堀江恭子
済生会二日市病院	感染管理認定看護師	船津康弘
九州がんセンター	感染管理認定看護師	本村景子

内 容 「感染症とは」「感染管理マネジメント」「感染管理対策の実際」「手指衛生・防護具の使用
方法」「感染対策マニュアルの作成・改訂」「組織における感染管理活動の実際：活動紹介」
「自施設の感染管理に対する課題の整理と対策立案」「取り組み報告及び今後の活動に向け
た対策の検討」

対 象 感染管理認定看護師、感染症看護専門看護師がいない施設の看護職員

感染対策において指導的立場にある、もしくはこれから指導的立場となる予定の看護職員

受講者 313名

(3) 福岡県感染管理看護基礎研修(県委託) 2日間・2日程：企画を担当

開催日 A日程：10月21日、10月22日 B日程：11月19日、11月20日

講 師	小倉記念病院	医師	宮崎博章 氏
	福岡徳洲会病院	感染症看護専門看護師	伊藤恭子 氏
	九州労災病院	感染管理認定看護師	安部美和 氏
	小倉記念病院	感染管理認定看護師	山下恵美 氏

内 容 「感染症とは」「感染管理におけるマニュアル整備と教育のポイント」「感染管理対策の実際」
「手指衛生・防護具の使用方法」「組織における感染管理活動の実際：活動紹介」

対 象 感染管理認定看護師、感染症看護専門看護師が配置されていない医療機関等に勤務する保健師、
助産師、看護師(状況によっては准看護師も対象)

受講者 191名

2) 感染症流行に関する支援『介護施設ラウンド』

- ・介護老人保健施設 ナーシングケア宗像(福岡県福津市) 9月14日
ラウンド者：感染管理委員 堀江恭子、中山佐代子
- ・特別養護老人ホーム りんごの丘(福岡市博多区) 9月29日
ラウンド者：感染管理委員 本村景子、船津康弘
- ・久英会 シニアビレッジ(福岡県八女市) 10月26日
ラウンド者：感染管理委員 川後田美穂子、中西穂波
- ・アットホーム諸岡(福岡市博多区) 11月29日
ラウンド者：感染管理委員 本村 景子、山口 佐月
- ・特別養護老人ホーム いきいき箱崎(福岡市東区) 12月5日
ラウンド者：感染管理委員 松本正幸、中山佐代子

3. 今後の課題・検討事項等

「高齢者の看護、介護における実践的感染対策研修」では、コロナ禍における高齢者等の特殊性を踏まえた感染予防活動の実際を主なテーマにしたことから、現場に即した内容で評価の高い研修となった。次年度は、重点事業に「介護施設等で働く看護職が受講しやすい環境づくり」が挙げられていることから、病院だけではなく介護施設等で感染管理が学べるよう、看護職に限らず事務職や介護・福祉職等も対象とする。また、より多く受講機会が得られるようオンデマンド研修とする。

福岡県からの委託研修は、昨年度からの「感染管理リーダー看護師育成研修」を今年度も当委員会が担当し、それに加え「福岡県感染管理基礎研修」についても企画の段階から関わった。感染管理看護基礎研修を実施することで、病院だけではなくクリニック等の医療機関の看護職にも受講対象を広げることができ、この2年間で約900名余の受講者に対し研修を実施できた。研修受講者は、コロナ禍であっても意欲的に感染対策に取り組んでおり、福岡県下における感染対策の向上に寄与することができたと考えられる。

介護施設ラウンドは、新型コロナウイルス感染症の全国的な流行の影響により、ラウンド実施に難渋しながらも、今年度5施設のラウンドを実施できた。次年度は8施設に拡充予定とする。

〔 9 〕 在宅支援・訪問看護委員会

委員長 山田 真理子

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 7回(中止5回)
- 2) 検討事項
 - (1) 在宅における利用者・家族からの暴力・ハラスメントに関する対策について
 - (2) 訪問看護師養成講習会(新任期)における情報交換会について
 - (3) 令和5年度訪問看護師養成講習会の研修内容について
 - (4) 令和5年度委員会事業計画・予算書作成について

2. 活動報告

- 1) 看護現場における利用者等からの暴力・ハラスメント対策検討会 8月23日、令和5年3月28日
参加者 1名
- 2) 学会参加「訪問看護サミット2022」(オンライン) 11月12日 参加者 1名
- 3) 訪問看護師養成講習会(新任期)情報交換会
開催日 11月28日
対 象 訪問看護師養成講習会(新任期)受講者、在宅支援・訪問看護委員会委員
参加者 45名

3. 今後の課題・検討事項等

令和4年度は、令和3年度から引き継いだ「在宅における利用者・家族からの暴力・ハラスメント対策に関する実態調査」結果の分析に基づき、具体的な対策について取り組んだ。令和5年度は、福岡県が行う対策と足並みを揃えながら、引き続き対策について取り組んでいく。

また、令和4年度は、重要課題である訪問看護を担う人材の確保と育成に関して、訪問看護師養成講習会の教育体系を検討した。さらに、令和5年度の訪問看護師養成講習会における情報交換会は、新任期でなく管理期に参加をすることとした。

訪問看護事業においては、管理者の質が事業所の質や運営に大きく影響するため、管理者の育成が急務である。近年、訪問看護事業所数は増えてきている。その一方で、質の担保および運営の継続には課題がある。これらを見据えて、当委員会でも検討を続けたい。

〔 10 〕 広報出版委員会

委員長 川野 孝司

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 12回
- 2) 検討事項
 - (1) 「よかナースふくおか」の発行に向けて
 - ①企画・レイアウト作成 ②原稿依頼 ③原稿整理 ④校正(各号2回) ⑤アンケート結果確認
 - ⑥次年度年間計画
 - (2) 令和5年度事業計画・予算検討

2. 活動報告

- 1) 都道府県看護協会広報役員会議(Web) 11月10日 参加者 2名
- 2) 特集記事の寄稿
 - ①コロナ禍における看護職のメンタルヘルス(小倉記念病院、福岡大学病院、産業医/公認心理)
 - ②災害に備えた取り組み(大牟田天領病院、ささぐり訪問看護ステーション)
 - ③地域包括ケアの実現に向けて

(宗像医師会訪問看護ステーション、SJR別院、福岡市立こども病院、NPO 法人にこり)

3) 協会ホームページ

- ・広報活動ページにおいて「よかナースふくおか」を発信し、アンケート・読者投稿企画を実施

3. 今後の課題・検討事項等

- 1) 福岡県看護協会の事業内容や活動の周知を目的に、アンケート結果の意見・要望を反映させ、より内容の充実した「よかナースふくおか」を目指す。
- 2) 「よかナースふくおか」記事の詳細な内容をホームページに掲載する等、ホームページとの連動を更に推進する。

【企画のポイント】

- ①協会活動に関する情報の掲載
- ②幅広い年代に読んでもらえる紙面づくり
- ③新しく役立つ情報
- ④会員と協会の双方向のコミュニケーションがとれる

〔 1 1 〕 認定看護管理者教育運営委員会

委員長 井原 資子

1. 委員会開催状況

1) 委員会 6回

2) 検討事項

- (1) 福岡県看護協会認定看護管理者教育細則の改正について
- (2) 2022年度(第12回)認定看護管理者教育課程サードレベル受講者選考審査
- (3) 2022年度(第23回)認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講者選考審査
- (4) 福岡県看護協会認定看護管理者教育規程の改正について
- (5) 2022年度(第37回)認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了審査
- (6) 2022年度(第12回)認定看護管理者教育課程サードレベル修了審査
- (7) 認定看護管理者教育運営委員会規程の改正について
- (8) 2022年度(第38回)認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了審査
- (9) 2022年度(第23回)認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了審査
- (10) 2023年度(第39回・第40回)認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講者選考審査

2. 活動報告

1) 認定看護管理者教育課程の運営

(単位:人)

教育課程	開催期間	日数	定員	応募者数	受講者決定数	受講者数 (受講再開者含)	修了者数
ファースト レベル	第37回 6月2日～8月5日	21	60	144	61	62	62
	第38回 10月5日～12月8日	21	60		61	59	59
セカンド レベル	第23回 9月8日～12月16日	33	40	40	40	40	39
サード レベル	第12回 7月1日～9月28日	32	30	36	30	31	31

2) 公益社団法人福岡県看護協会における認定看護管理者教育課程修了者数(令和5年3月31日現在)

(単位:人)

教育課程	修了者数
ファーストレベル	3,866
セカンドレベル	1,154
サードレベル	355

3) 看護管理実践報告会

- (1) サードレベルは2020年度休講のため実践報告会の開催はなかった。
- (2) 2021年度(第22回)セカンドレベル修了者の実践報告会を令和5年2月11日に開催した。

4) 看護管理実践報告集発刊

- ・2021年度(第22回)セカンドレベル看護管理実践報告集 58部(令和5年3月発刊)

3. 今後の課題・検討事項等

- 1) 令和4年度も新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて、ファーストレベル(2回開催)、セカンドレベル、サードレベルの3課程とも集合研修で行うことができた。受講者の状況に応じて、オンラインでの受講や演習にも対応した。今後も感染症に対応しながら、受講者の研修環境を整えていく必要がある。
- 2) 2019年のカリキュラム改正から3年が経過している。カリキュラム内容に沿って、研修内容がより充実できるよう検討していく。また、より多くの認定看護管理者に講師を担っていただけるようにしていく。

日看協では、認定看護管理者制度の見直しに向け検討を開始している。新制度設計についての情報を収集し、方針に対応できるよう準備を進めていく。

[12] すぴか☆くるめ運営委員会

委員長 寺岡 佐和

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 2回
- 2) 検討事項
 - (1) 令和3年度実績報告及び令和4年度運営状況について
 - (2) 現状の課題と対応策について
 - (3) 令和5年度計画及び予算(案)について
 - (4) すぴか☆くるめ運営委員会の今後について
 - (5) すぴか☆くるめ運営委員会の廃止について(理事会報告)

2. 活動報告

本委員会の目的は、看護小規模多機能型居宅介護事業所すぴか☆くるめの経営、事業及びその他運営に関する調査、審議を行い、すぴか☆くるめが地域に密着した質の高い在宅生活の支援と、安定した適正な運営を行えるよう、客観的な意見や適切な助言を行うことにある。本年度は、主に以下の2点について協議を行った。

1) 質の高いサービスの提供と収入増への取組みについて

すぴか☆くるめでは、介護職員を対象に、管理者が年齢・スキル・働き方に応じた細やかな指導を行ったり、意欲的にスキルアップに取り組める環境づくりに努めたりし、サービスの質向上を目指してきた。その結果、介護職の離職率が低下したうえ、介護福祉士の資格取得者が7割を超えるなど、介護サービスの質向上と共に、サービス提供体制強化加算Ⅰの取得にもつながり、収入増となったことが報告された。また、LIFEを使った予防的アプローチを導入したことで、利用者へさらに質の高いサービス提供が行えるようになってきている。

そのほか、家族のレスパイトに留意しつつも、利用者が住み慣れた自宅で安心して過ごせるよう、通所に頼らない訪問サービスを強化したところ、宿泊の定期利用が減少し、空いたベッドをタイムリーな宿泊対応や障害福祉サービスの受け入れに活用できたことが報告された。

2) これからの課題

昨年度と比較して新規相談件数は増加した。しかし、相談から利用へと繋がった割合は、従前と同じく3分の1程度であった。利用者数自体は昨年度に比べ順調に増加しているが、例年、冬季は看取りの件数が増え、利用者数が一時的に減少する。それらを踏まえ、新規の相談が多い春季および秋季に、利用者の獲得へ向け努める必要があることが再確認された。

また、これまでは医療機関からの相談が多くみられたが、今年度は居宅介護事業所からの相談が増加した。このことから、ケアマネジャーにおいて看多機への認知度が高まり、ケアプランを作成する際の選択肢のひとつになってきたと考えられる。引き続き、医療機関の地域連携室との更なる関係性の構築、居宅介護事業

所との連携強化、文化祭等の地域行事を通じた地域住民との交流を積極的に重ね、すびか☆くるめおよび看多機の認知度の向上に努めることが確認された。

最後に、介護職員の高齢化による世代交代や訪問サービスの充実に向けた人員確保の必要性、障害者の受け入れに伴う介護職員への教育の必要性など、現状と課題が共有された。

3. 本委員会の廃止について

すびか☆くるめは開所から8年を迎え、この間、赤字から黒字へと転換し、質の高い地域密着型サービスの提供が可能になるなど、安定した経営および運営が行われるようになった。そこで、本委員会設置前から現在までの経緯や課題の解決状況を振り返り、委員会の目的について概ね達成したことを確認し、令和4年第8回理事会に諮った。その結果、令和5年3月31日をもって本委員会を廃止すること、今後は協会立訪問看護ステーションの運営を協議する「訪問看護ステーション運営会議」において、訪問看護ステーション「こが」・「くるめ」と共に、一体的に運営について協議していくことが承認された。

[13] 看護研究倫理審査委員会

委員長 福田 和美

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 1回
- 2) 倫理審査 2件
 - (1) 看護研究倫理審査申請2件について委員会の中で倫理審査を実施した。
 - (2) 審査結果報告書をまとめ申請者へ通知した。
 - (3) 申請2件については最終的に承認された。

2. 今後の課題・検討事項等

- 1) 倫理審査申請期間を限定する。
- 2) 研究実施期間を確保するため委員会開催時期を1か月早める。

[14] 規約検討委員会

委員長 安達 康子

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 1回
- 2) 検討事項
 - (1) 代議員制の導入に伴う諸規定の改正について(概要)
 - (2) 定款細則の一部改正について(案)
 - (3) 規定の新設と一部改正について
 - ① 代議員選任規程の新規制定について(案)
 - ② 選挙及び選挙管理委員会に関する規程の一部改正について(案)
 - ③ 代議員選挙施行細則の新規制定について(案)
 - ④ 総会議事運営規程の一部改正について(案)

2. 活動報告

令和4年度通常総会において、代議員制導入に伴う定款の変更(案)が可決承認された。実際に、本会に代議員(以下、「本会代議員」という。)を置くためには、候補者の推薦や立候補の方法、選挙の実施方法等を定める必要がある。それらを定めた定款細則の一部改正、関係諸規定の新設と一部改正について、事務局より概要説明を受けた後、協議を行った。

(1) 地区支部が行う候補者推薦について

地区支部には、それぞれ役員等の当番を決める仕組み(輪番制等)がある。会員施設に役が回るように計画を立てているが、会員数が少ない施設や小規模施設には頼みにくい現状がある。また、どの職種の人がどの会員施設に所属しているのかもわからない。そのような中、満遍なく会員施設から本会代議員の候補者を推薦するのは難しい。協会である程度選任の仕方について道筋を決めることが必要だ。

(2) 地区支部役員の負担に対する配慮について

地区支部の役割は、候補者の推薦だけでなく多岐に渡る。年々、医療現場の管理も大変さが増しており、地区支部役員の負担を懸念する。また、地区支部では、直接個人会員から意見を吸い上げたり、情報を伝えることは難しく、負担の大きさを踏まえ一定の配慮を求める。

(3) 情報伝達の方法について

施設会員代表者は次々に交代していく。情報伝達先に戸惑うこともある。全会員に向けての情報発信について、ある程度システムづくりが必要だ。

[事務局からの回答]

- ・現場において円滑に候補者を選出できるよう、具体的な仕組みをいくつか例としてお示しし、各地区支部の実情に応じて活用いただけるマニュアルを事務局で作成する。また、各地区支部における会員施設の状況（会員数や職種等）についても、地区支部に適宜情報提供していく。
- ・本会代議員になる方法は地区支部からの推薦と立候補の2通りであるが、この二つがうまく機能する方法を事務局で構築する。
- ・情報発信は、令和5年度にホームページに新設する専用コンテンツを使い、協会から行っていく。また、会員ひとりひとりに配付する機関紙「よかナース」に、選挙公示や推薦に関する情報等を掲載することで、周知に努める。

上記の3つの意見に対する事務局からの回答を踏まえ、定款細則をはじめ5本の規定を理事会に提出することを承認した。

〔 15 〕 推薦委員会

委員長 坂本 美穂

1. 委員会開催状況

1) 委員会 6回

2) 検討事項

- (1) 令和5年度改選役員候補者について(推薦活動及び承諾依頼)
- (2) 令和5年度推薦委員候補者について(推薦活動及び承諾依頼)
- (3) 令和6年度日本看護協会代議員及び予備代議員候補者の推薦依頼
- (4) 選挙管理委員会へ届け出する代議員・予備代議員候補者名簿の作成
- (5) 推薦委員会マニュアルの見直し

2. 活動報告

第1回：推薦委員の役割・活動内容について、委員長・副委員長の選出、委員会定例日の決定、年間計画について

第2回：議事録担当について、議事録の記載方法、推薦活動の方法について、推薦活動

第3回～4回：推薦活動

第5回：推薦活動、候補者推薦及び承諾に関する文書の送付

第6回：改選役員・推薦委員候補者の承諾書確認、日本看護協会の代議員・予備代議員候補者名簿の作成、推薦委員会マニュアル内容の確認、推薦委員会規程及び内規の一部改正